

平成29年度

事業報告

(附属明細書を含む)

社会福祉法人ふしの学園

目 次

I 法人本部の概況

1	評議員会の開催状況	1
2	理事会の開催状況	2
3	監事による監査	3
4	理事長及び常勤理事の協議	3
5	主な資産の増加	3

II ふしの学園宮野の里の概況

1	利用者の動向等	4
2	生活介護事業	7
3	ふしのエコ事業所	7
4	共同生活援助での支援	7
5	施設の開放等	8
6	行事等の実施及び参加	8
7	短期入所事業及び日中一時支援事業	9
8	苦情解決第三者委員会議の開催	9
9	保護者との連携	10
10	保健・給食・安全	10
11	職員の健康管理	10
12	職員研修	11

III ふしの学園第2宮野の里の概況

1	利用者の動向等	12
2	健康管理	14
3	生産活動支援	17
4	生活支援	17
5	行事・社会参加支援	19
6	保健・給食・安全	21
7	短期入所支援・日中一時支援	25
8	保護者との連携	25
9	苦情処理（苦情解決第三者委員への報告）	25
10	施設の管理運営	26
11	職員の健康管理	28

I 法人本部の概況

1 評議員会の開催状況

開催年月日	議 題	出席状況	備 考
第1回 評議員会 H29.6.27	《議案》 1 平成28年度社会福祉事業区分会計の決算に係る計算書類等（案）について 2 理事及び監事の選任（案）について 3 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給基準（案）について 4 平成29年度理事及び監事の報酬等の額（案）について 《報告》 平成28年度事業報告	評議員 12名 理事長 理事 2名	
第2回 評議員会 H30.3.29	《議案》 1 平成29年度社会福祉事業区分会計の補正予算（案）について 2 平成30年度事業計画（案）について 3 平成30年度社会福祉事業区分会計の予算（案）について 4 平成29年度理事及び監事の報酬等の額の変更（案）について 5 平成30年度理事及び監事の報酬等の額（案）について 6 社会福祉法人ふしの学園監事の選任（案）について	評議員 12名 理事長 理事 2名	

2 理事会の開催状況

開催年月日	議 題	出席状況	備 考
第1回 理事会 H29.6.8	《議案》 1 平成28年度事業報告（案）について 2 平成28年度社会福祉事業区分会計の決算（案）について 3 社会福祉法人ふしの学園経理規程の一部改正（案）について 4 ふしの学園宮野の里運営規程の一部改正（案）について 5 共同生活援助事業（グループホーム）運営規程の一部改正（案）について 6 ふしの学園福祉サービスに関する苦情解決取り扱い要綱の一部改正（案）について 7 平成29年度定時評議員会の招集事項（案）について	理事長 理事 6名 監事 2名	
第2回 理事会 H29.6.27	《議案》 1 社会福祉法人ふしの学園理事長の選定について 2 社会福祉法人ふしの学園評議員選任・解任委員会の委員の選任（案）について	理事長 理事 7名 監事 2名	
第3回 理事会 H30.2.28	《議案》 1 平成29年度社会福祉事業区分会計の補正予算（案）について 2 平成30年度事業計画（案）について 3 平成30年度社会福祉事業区分会計の予算（案）について 4 平成29年度第2回評議員会の招集事項（案）について	理事長 理事 6名 監事 1名	
第4回 理事会 H30.3.14	《議案》 平成29年度第2回評議員会の招集事項（案）について（追加議案）		書面議決 ※みなし

3 監事による監査

実施日：平成 29 年 5 月 25 日

監事 2 名

立会：理事長、理事 2 名

4 理事長及び常勤理事の協議（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

4 2 回 実施（※別紙参照）

5 主な資産の増加

（1）宮野の里

①送迎用車両更新（1 台）

②軽四輪貨物自動車更新（1 台、中古）

（2）第 2 宮野の里

①井水ポンプ修理

②食堂、厨房ガス給湯器更新（2 台）

Ⅱ ふしの学園宮野の里の概況

1 利用者の動向等

	定員 (人)	平成 29 年度 当 初	利用開始 (人)	利用中止 (人)	平成 29 年度 年度末
施設入所支援（夜間等）	50	49	1	0	50
共同生活援助（夜間等）	8	5	1	1	5
生活介護（日中等）	80	75	2	3	74
就労継続支援 B 型（日中等）	20	17	1	2	16

※ 利用開始、中止の理由等

●施設入所支援（夜間等）

《利用開始》平成 29 年 4 月 1 日（女性）通所から

●共同生活援助（夜間等）

《利用中止》平成 30 年 2 月 9 日（男性）死亡のため

《利用開始》平成 29 年 12 月 1 日（男性）通所から

●生活介護（日中等）

《利用中止》平成 29 年 6 月 30 日（女性）第 2 宮野の里入所のため

平成 29 年 7 月 31 日（女性）第 2 宮野の里入所のため

平成 30 年 2 月 28 日（男性）転居（山口市外）のため

《利用開始》平成 29 年 4 月 2 日（男性）新規契約（支援学校卒業後）

平成 29 年 6 月 12 日（女性）新規契約

●就労継続支援 B 型（日中等）

《利用中止》平成 29 年 4 月 30 日（男性）一般就労のため

平成 30 年 2 月 9 日（男性）死亡のため

《利用開始》平成 29 年 7 月 10 日（男性）新規契約

（1）平均年齢（平成 30 年 3 月 31 日現在）

施設入所支援	共同生活援助	生活介護	就労継続支援 B 型	計
55 歳 4 ヶ月	57 歳 1 ヶ月	46 歳 5 ヶ月	51 歳 2 ヶ月	47 歳 9 ヶ月
年 齢 幅	25 歳～ 80 歳	年 齢 幅	18 歳～ 80 歳	

（2）平均在園年数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

施設入所支援	共同生活援助
24 年 10 ヶ月	ホーム①（2 人）13 年 6 ヶ月 ホーム②（3 人）10 年 5 ヶ月

(3) 障害支援区分 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

支援区分	生活介護 (日中)	就労継続支援 B 型 (日中)	計	施設入所支援 (夜間)	グループホーム (夜間)	計
非該当	0	5 (未判定 1)	5	0	1	1
1	0	2	2	2	2	4
2	1	4	5	2	0	2
3	5	5	10	8	2	10
4	25	0	25	14	0	14
5	36	0	36	19	0	19
6	7	0	7	5	0	5
合 計	74	16	90	50	5	55

(4) 家庭の状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

	施設入所	通所(生活介護・就労継続B型)	グループホーム
両親あり	10	25	2
片親のみ	13	11	0
両親なし	27	6	3
計	50	42	5

(5) 入院状況 (施設入所者)

診療科目	人 数	日 数	備 考
外科・整形外科	2 名	109 日	82 日、27 日
精神・神経内科	1 名	69 日	69 日
内 科	2 名	10 日	8 日、2 日
合 計	5 名	188 日	

(6) 通院延べ日数 (施設入所者)

診 療 科 目	日 数	診 療 科 目	日 数
内 科	397 日	放 射 線 科	9 日
眼 科	14 日	精 神 科	116 日
皮 膚 科	45 日	婦 人 科	4 日
外科・整形外科	91 日	泌 尿 器 科	9 日
歯 科	135 日	耳 鼻 科	3 日
合 計 823 日			

●春の健康診断での指示で、循環器・泌尿器科・放射線科 (CT) 対象者が年々増加している。

●特定年齢該当者 1 名について、肺炎球菌ワクチンを接種した。

(7) 定期健康診断の実施状況

実施年月日	H29.3/21~4/28	H29. 10/18	H29.10/19、11/9 12/14
実施場所	奥田胃腸科内科	第 2 宮野の里	宮野の里
担当医師	奥田 道有	児玉 昭彦 (歯科医)	奥田 道有
対象者数	53 名	83 名	85 名
要経過観察	0 名	65 名	0 名
要精密検査	23 名	0 名	0 名
要治療	1 名	18 名	0 名

2 生活介護事業

(1) 生産活動支援

平成 29 年度の生活介護事業における班別利用者数・職員配置と、生産活動等で得た売上の状況は次のとおりであった。

班 別	利 用 者 数	職 員 数	売上金額（単位：円）
窯 業 班	16 名	3 名	1,248,032
洋 裁 班	9 名	2 名	470,515
箱 班	13 名	2 名	635,886
タ オ ル 班	14 名	3 名	2,131,012
い き い き 班	22 名	6 名	1,273,846
合 計	74 名	16 名	5,759,291

(注) ①利用者数は平成 29 年度末時点

②売り上げ合計 - 必要経費 = 利用者支給金

(5,759,291 円) (2,359,172 円) (3,400,119 円)

平均支給金 (74 名) 約 2,500 円／月 (利用日数に応じて支給)

(2) クラブ活動 (3 B 体操・DVD 鑑賞・カラオケ)

(3) 余暇活動 (ドライブ、食事会、徳山動物園、常盤公園、サファリパークなど)

3 ふしのエコ事業所 (就労継続支援 B 型事業) での生産活動支援

(1) 具体的生産活動

便利屋事業 (一般廃棄物収集運搬・草刈り・草取り・剪定・グラウンド整備など) の売り上げも、営業努力やロコミなどの効果も表れ、順調に伸びた。それに伴い利用者の工賃も着実に向上した。

(2) 売上実績

20,863,686 円

(3) 支給実績

売上実績 - 必要経費 (10,925,921 円) 及び設備等整備積立金 (787,775 円)

= 利用者工賃 (9,149,990 円)

平均工賃 (17 名) 45,000 円／月

4 共同生活援助での支援

地域の中にある住宅を活用し設置している、「ふしのホーム 1」及び「ふしのホーム 2」で生活を営む利用者 (5 名) に対して、世話人 3 名により日常生活における援助を行った。

5 施設の開放等

(1) ふれあい型給食サービスの調理受託（平成 12 年 10 月 5 日から開始）

実施日 毎月 1 回

対象 宮野地区内の調理や買い物が困難な高齢者 100 名

事業主体 宮野地区社会福祉協議会

受託料 70 万円

(2) 施設実習等の受け入れ

① 山口県立山口総合支援学校・山口県立山口南総合支援学校・山口大学教育学部附属特別支援学校生徒の体験実習

② 山口県立大学・山口学芸大学ほか県内大学・短期大学・専門学校学生・中村女子高等学校生徒の各種資格取得のための実習・介護等の体験実習。

③ 一般市民や他施設・団体からの体験及び施設見学等

(3) その他の地域交流

① 焼き物教室の開催

宮野幼稚園での焼き物教室 参加者 50 名

② 「奉仕の日」の活動

地域の河川清掃（ふしの川の清掃） 利用者 5 名、職員 2 名参加

山口県立大学共同募金サークル MEP とふしの学園が共同で募金活動

街頭募金への参加 職員 2 名

(4) 広報活動

広報誌「ふしの学園だより」を年 3 回発行し、関係行政機関（団体）や保護者会役員などに配布した。

6 行事等の実施及び参加

(1) 対外行事等

① 第 50 回アイリンピック大会（主催：山口県）

5 月 20 日（土）維新百年記念公園陸上競技場 利用者 29 名、職員 5 名参加

② いきいき交流会

6 月 3 日（土）山口県セミナーパーク 利用者 39 名、職員 10 名参加

③ 宮野ホテルまつり

6 月 10 日（土）利用者 21 名、職員 5 名参加

④ ナイスハートふれあいスポーツ広場（主催：マツダ労連）

6 月 11 日（日）防府市ソルトアリーナ 利用者 10 名、職員 3 名参加

⑤ 利用者旅行

●生活介護：長崎方面

箱班、タオル班・・・6 月 28 日（水）～ 29 日（木）

窯業班、洋裁班・・・7 月 5 日（水）～ 6 日（木）

いきいき班・・・7 月 12 日（水）～ 13 日（木）

●就労継続支援 B 型

宿泊研修・・・7 月 14 日（金）～ 15 日（土）下松市、周南市

研修旅行・・・10 月 20 日（金）～ 21 日（土）熊本方面

⑥ 熊坂地区運動会

10 月 22 日（日）熊坂グラウンド 利用者 15 名、職員 2 名参加

⑦ 第 36 回ふしの学園祭

11 月 11 日（土）

⑧ 古希、還暦祝いの会

3 月 15 日（木）古希 1 名、還暦 1 名

⑨ ふれあい音楽コンサート 周南市

3 月 3 日（土）利用者 14 名、職員 3 名参加

(2) 障害者スポーツ関係

- ① 第17回全国障害者スポーツ大会（希望郷いわて大会）派遣選手選考会
5月14日（日） フライングディスク競技 5名、陸上競技 3名参加
 - ② 平成29年度宮野地区ロードレース大会
12月3日（日） 3名参加
 - ③ 山口県障害者フライングディスク交流大会 2017
12月9日（土） 3名参加
- (3) 催事及び展示即売会への参加
- 9月27日（水） 山口市健康増進老人福祉大会
 - 10月14日（土） ひらきの里コスモス祭り
 - 10月15日（日） 宮野まつり

7 短期入所事業及び日中一時支援事業

●短期入所利用者回数 . . . 153 回
延利用日数 . . . 572 日

●日中一時支援利用回数 . . . 542 回

8 苦情解決第三者委員会議の開催

日	時	平成30年3月7日（水）
場	所	ふしの学園 宮野の里会議室
苦情受付件数		施設入所・生活介護 3件
		ふしのエコ事業所 0件
		ふしのホーム 0件

番号	受付日	申出人	苦情の内容
1	5月10日	本人	支援の内容に関する事項
2	9月13日	本人	支援の内容に関する事項
3	11月8日	本人	支援の内容に関する事項

●苦情解決第三者委員	
伊藤ルリ子	人権擁護委員 元民生・児童委員
杉山 昭郎	ふしの学園を育てる会、元民生・児童委員会会長
平野 充好	京都女子大学教授 前山口大学副学長
●苦情解決責任者	施設長
●苦情受付担当者	支援課長・サービス管理責任者

9 保護者との連携

- (1) 第44回手をつなぐ育成会福祉・教育振興山口県大会（職員5名参加）
10月8日（日） 山口市 山口県総合保険会館
- (2) 第29回山口県知的障がい施設福祉振興大会（職員6名参加）
11月16日（木） 宇部市 渡辺翁記念会館
- (3) 保護者会、保護者会総会（宮野の里会議室で開催）・・職員4名出席
4月22日（土） 保護者会総会
7月14日（金） 保護者会
12月15日（金） 保護者会
- (4) 利用者の生活状況や活動状況等を掲載した「糸でんわ」を毎月発行し各保護者あてに送付した。

10 保健・給食・安全

- (1) 健康管理
 - ① 春の健康診断（3月～4月）、秋の健康診断（10月～12月）実施
 - ② インフルエンザ予防接種（11月14日）
 - ③ 嘱託医による診察（毎月定期・内科）
 - ④ 体重測定（毎月）
 - ⑤ 歯科検診の実施（10月18日）
 - ⑥ 肺炎球菌ワクチン接種（対象者のみ）
- (2) 給食指導実施状況
 - ① 個人別食事摂取基準量の設定
 - ② 刻み食・とろみ食の提供
 - ③ 嗜好調査の実施（11月）
- (3) 安全対策
 - ① 消防署に事前に届け出を提出し、火災を想定した避難訓練を年2回実施した。
 - ② 電気工作物の維持・運用に関する保安を確保するため、中国電気保安協会に依頼して「自家用電気工作物点検」を年6回実施した。
 - ③ 消防用設備の維持管理のため、（有）ハッタ防災山口に依頼し「消防設備等点検」を年2回実施した。
 - ④ 施設内外の警備、火災等の非常災害の未然防止を目的に、夜勤者が定時に施設内外の巡回を行った。
 - ⑤ 防犯カメラ2台の設置を行った。

11 職員の健康管理

- (1) 健康診断
 - 夜勤及び準夜勤勤務職員（16名）・・・2回／年
 - その他の職員（26名） ・・・1回／年
- (2) 保菌検査
 - 栄養士及び調理員等（11名） ・・・1回／月
- (3) インフルエンザ予防接種（44名）

12 職員研修

県社会福祉研修所における各種研修会、または県社会福祉協議会等が行う研修会、関係団体が実施する研修会に出席させ、職員の資質の向上に努めた。

- (1) 社会福祉法人等新任職員研修会
4月13日(木)～14日(金) 山口県セミナーパーク
- (2) 医療保健部会研究会
6月20日(火) 山口県社会福祉会館
- (3) 障害者(児)福祉テーマ別研修「虐待防止と利用者の権利擁護」
7月10日(月) 山口県セミナーパーク
- (4) 第59回 中国・四国地区知的障害関係施設職員研究協議会
7月13日(木)～14日(金) 島根県 島根県民会館
- (5) スーパーバイザー養成研修(基礎編)
7月18日(火)～19日(水) 山口県セミナーパーク
- (6) 支援スタッフ研究会
9月4日(月)～5日(火) 周南市 ホテルサンルート徳山
2月23日(金) 山口県セミナーパーク
山口・防府圏域研究会 8月4日(金) 山口市 ひらきの里
- (7) 障害者支援施設部会研究会
9月13日(水) 宇部市 日の山のぞみ苑
12月6日(水)～7日(木) 山口市 セントコア山口
- (8) 管理運営部会・経理事務研究会
9月26日(火) 山口県社会福祉会館
- (9) 第55回全国知的障害福祉関係職員研究大会(愛知大会)
9月27日(水)～29日(金) 愛知県 名古屋国際会議場
- (10) 日中活動支援部会研究会
10月10日(火) 山口市 鳴滝園
- (11) 研修指導者養成研修(ファシリテーター養成研修)
1月24日(水)～25日(木) 山口県社会福祉会館
- (12) 虐待防止徹底研修会
2月14日(水) 山口県社会福祉会館
- (13) 苦情受付担当者研修会
2月14日(水)) 山口県セミナーパーク
- (14) 生産活動・就労支援部会研修会
3月1日(木)～2日(金) 宇部市 国際ホテル宇部
- (15) 山口市自立支援協議会 各部会の定例会及び研修会

他、多数の研究会及び研修会に参加した。

Ⅲ ふしの学園第2宮野の里の概況

1 利用者の動向

第2宮野の里における入所利用者の年齢構成については、20歳から79歳までと年齢差が大きく、また、平均年齢が53.1歳（内、65歳以上9名）、障害支援区分5以上が14名となっている。

利用者の動向では、平成29年度当初入所者は定員30名（男性15名、女性15名）のところ現員23名（男性11名、女性12名）であった。平成29年7月以降、男性1名退所（死亡）、女性2名の入所者（宮野の里通所より）があったため、平成29年度末では24名（男性10名、女性14名）となった。

(1) 年齢構成（平成30年3月31日現在）

性 別	70歳代	60歳代	50歳代	50歳：未満	計
男 性	4	1	0	5	10
女 性	3	4	2	5	14
計	7	5	2	10	24

(2) 平均年齢（平成30年3月31日現在）

男 性	48歳 8ヶ月	女 性	57歳 4ヶ月	平 均	53歳 1ヶ月
-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 平均在園年数等（平成30年3月31日現在）

平 均 在 園 年 数	17年0.5ヶ月 (男性21年3ヶ月 女性12年10ヶ月)
開設当初からの在園	5名（男性3名、女性2名）
最 長 在 園 年 数 (宮野の里からの在園を含めて)	47年

(4) 障害支援区分状況（平成30年3月31日現在）

区分 2	0 名
区分 3	3 名
区分 4	8 名
区分 5	10 名
区分 6	3 名

(5) 家庭状況（平成30年3月31日現在）

両 親 あ り	4 名
片 親 の み	7 名
両 親 な し	13 名

(6) 療育手帳交付状況（平成30年3月31日現在）

手 帳 A	18 名
手 帳 B	6 名

(7) 身体障害者手帳交付状況（平成30年3月31日現在）

肢 体 不 自 由	0 名
視 覚 障 害	0 名
心 臓 機 能 障 害	3級1種 1 名
平 衡 感 覚 障 害	5級2種 2 名

(8) 入退所状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

入 所			退 所		
性別	年齢	入所年月日	性別	年齢	退所年月日及び退所理由
女	39	7月1日	男	58	10月8日 死亡
女	56	8月1日			

2 健康管理

- (1) 第2宮野の里は高齢化・重度化が進んできたことに伴い、体力の衰えと各種疾患の多様化から生活習慣病による通院に加え、精神疾患による通院も多くなっている。その為、健康観察や通院対応等の支援に努めた。
- (2) 60歳以上の利用者も12名と全体の半数以上を占め、生活習慣病については、高血圧患者3名、糖尿病患者1名、高脂血症患者2名、特定難病疾患患者3名、その内1名が内服治療中である。
また、精神疾患10名と、身体障害の重複者もいる。この為、多くの疾病を抱えた利用者さんもあることから、内服薬の種類も多く適正な内服薬の管理に努めている。
- (3) 高齢化・重度化は感染性疾患に対するリスクも大きくなることから、日ごろの保健指導の徹底と、インフルエンザ等の予防接種を全員に、肺炎球菌ワクチン接種を65歳以上の利用者に行い、感染予防対策に引き続き努めた。

(4) 入院の状況

年齢	性別	病名	病院名	入院期間
43歳	女性	てんかん発作頻発	県立総合医療センター	5月26日～5月30日
69歳	男性	左膝蓋骨骨折	佐々木外科病院	5月26日～6月28日
57歳	男性	両側肺炎	日赤病院	8月18日～10月8日 (死亡退院)
71歳	女性	両側眼瞼内反症	県立総合医療センター	9月11日～9月14日
78歳	女性	出血性貧血	日赤病院	12月4日～12月18日

(5) 通院の状況 (延べ人数162名、15診療科)

内 科 (腎臓内科、循環器内科含む)	36名	皮膚科	16名	整形外科	15名
精神科	20名	眼 科	6名	耳鼻科	2名
歯 科	47名	外 科 (乳腺外科含む)	15名	泌尿器科	5名

(6) 健康診断・受診状況等

① 平成29年度定期健康診断の実施状況

実施年月日	平成29年 5月8日～5月25日	平成29年 7月1日～7月31日	平成29年 10月19日	平成29年 1月26日
実施場所	奥田胃腸科内科	奥田胃腸科内科	第2宮野の里	第2宮野の里
担当医師	奥 田 道 有	奥 田 道 有	児 玉 昭 彦	奥 田 道 有
検査項目	40歳以下 胸部レントゲン 心 電 図 血 液 科 学 血 聴 打 診 尿 検	40歳以上 胸部レントゲン 心 電 図 血 液 科 学 血 聴 打 診 尿 検 ※大腸癌検診 ※胃癌検診 ※ピロリ菌検査	歯・歯肉 歯周囲	血 圧 聴 打 診
対象者数	9 名	14 名	23 名	22 名
要経過観察	2 名	14 名	7 名	14 名
要精密検査	2 名	8 名	0 名	0 名
要 治 療	2 名	8 名	3 名	8 名

② 定期通院を要する者

内 科	14 名	眼 科	3 名	耳鼻科	1 名
精神科	11 名	泌尿器科	1 名	皮膚科	3 名
外 科	1 名	歯 科	4 名		

③ 健康診断（月例健康診査）

診 察 日	対 象 者	医 師 名	診察内容	診察場所	備考
毎月 第4木曜日	入所利用者	奥田胃腸科内科 医師 奥田 道有	内科全般	第2宮野の里 保健室	

(7) 感染症発生状況：発生なし

3 生産活動支援

持続性・忍耐力を養い、働く喜びと勤労意欲の増進及び共同作業をすることにより他の利用者との協調性を養うことを目指して、利用者の体力や能力に応じた軽作業（箱折り作業）を実施した。

なお、これによる収入は各利用者へ支給した。

区 分	班員	作業収益	備 考
製 箱 作 業	24名	493,451円	・ 西村紙器・たまや製菓
園 外 作 業		8,000円	・ 墓掃除
収入合計		501,451円	・ 利用者への支給金（年2回） * 必要経費なし、利用者へ全額支給 一人平均 1,741円/月

4 生活支援

一人ひとりの年齢や障害の程度、健康状態等に十分配慮しながら、施設での生活に安らぎと潤いがあり、温かい心の通った家庭的なサービスの提供に努めた。

(1) 日常生活支援

園内生活では、居室担当職員（支援員）を中心に、基本的生活習慣を身につけるため、衣類の整理整頓、身だしなみ、入浴、洗濯等の個別支援を積極的に実施した。

実施日	場 所	支 援 内 容	備考
毎 日	各 居 室	洗面、寝具の片づけ、歯磨き、洗濯、挨拶 衣類の整理整頓、私物の整理、食事、入浴 爪切り、身だしなみ、掃除、その他日常生活に関すること	

(2) 自治会活動支援

生活全般における自主自立の心を育てるため、利用者による自治会活動の支援に努めた。

項 目	実施日	活 動 内 容	備考
自主活動	毎 日	利用者の希望のもと、利用者自身による活動 1 風呂当番（お湯はり、バスマットの準備等） 2 清掃活動（各利用者が分担して実施） 3 コーヒー当番（お湯沸し、コーヒー作り）	
自治会集会	毎 月 最終週に実施	寮生活上の諸問題、利用者間の問題等 学園に対する希望、要望等の話し合い	

(3) 外出支援

実施日	実施方法	支 援 内 容
毎月1回	班ごと実施 (3~4人)	1 買物支援 (衣類、本、菓子類、洗剤、ジュース類、嗜好品、履き物等生活用品) 2 レストラン等での昼食支援等
そ の 他		1 利用者旅行（長崎方面 7月6日・7日） 2 オプション（墓参り、保護者面会等）

(4) 余暇活動支援

実施日	場 所	活 動 内 容	備考
毎月 1回～ 3回	園 内	カラオケ、調理、パンづくり、映画鑑賞、忘年会等	
	園 外	ドライブ 季節の花見、カラオケボックス等	
	食堂 ・作業室	誕生者を祝福しケーキを食べる。誕生者がいない月に関しては、自治会活動として外出を実施。 レクリエーション	

(5) 支援会議開催状況

開催日	出席者	主 な 協 議 内 容	備考
毎月 第1金曜日	施 設 長 支援課長 主 任 支援員 看護師	1 諸行事の参加の有無及び打ち合わせ・反省 2 待機登録の承諾について 3 入所希望者の短期入所利用について 4 居室替えについて 5 各利用者ケース検討 6 実習生の受け入れについて 7 夏期における飲み物の提供の仕方について 8 入所希望者について 9 ヒヤリハット対応について 10 諸行事の担当決めについて 11 受傷事故防止について 12 その他利用者の支援に関する事	

5 行事・社会参加活動支援

(1) 行 事

園の生活に変化と潤いをもたせ生きがいや満足感のあるものとするため学園独自の季節行事を実施するとともに、関係団体が主催する各種行事に積極的に参加した。

No	行 事 名	開催日
1	利用者花見（阿知須方面）	4月 6日
2	山口県アイリンピック大会	5月20日
3	手をつなぐ親の会いきいき交流会	6月 3日
4	宮野ほたる祭り	6月10日
5	ナイスハートふれあいスポーツ広場（自動車総連主催）	6月11日
6	山口県知的障害関係施設親善球技大会	7月10日
7	利用者旅行（1泊2日）長崎方面	7月 6日 ～7日
8	第37回ふしの学園祭	11月11日
9	第29回山口県知的障害施設振興大会（宇部市）	11月16日
10	利用者忘年会	12月 8日

(2) 開かれた施設づくり

地域社会と共に育ち、地域の人々に支えられて存立し、地域福祉のネットワークの中の施設として、地域行事への参加、福祉系大学からの実習生の受け入れ、学園広報誌の配布等、開かれた福祉施設づくりに努めた。

	実 施 内 容	対 象 者 等	実 施 月 日
1	施 設 体 験 実 習	中村女子高等学校 4名	5月24日～6月 2日
2	ソーシャルワーク実習Ⅱ	山口県立大学社会福祉学部 2名	8月18日～9月 8日
3	保 育 実 習（Ⅰ・Ⅱ）	山口芸術短期大学 2名	8月21日～9月 1日
4	施 設 一 日 見 学 実 習	山口芸術短期大学 18名	10月25日
5	ソーシャルワーク実習Ⅰ	山口県立大学社会福祉学部 3名	前半（4名） A：11月1・8・15日 B：11月22・29日 12月6日 後半（4名） A：2月19日～23日 B：2月26日～3月2日
6	施 設 一 日 見 学 実 習	山口芸術短期大学 25名	11月27日（12名） 11月28日（13名）
7	ふれあい型給食サービス事業 （平成12年10月5日からの 調理受託事業）	実施日：毎月1回（第1木曜日の昼食） 対 象：宮野地区在住の65歳以上の一人暮らしのお年寄り 事業主体：宮野地区社会福祉協議会 受 託 料：70万円	
8	施設見学者受入	民生委員、総合支援学校、他施設保護者、職員等	
9	学園広報誌の発行	行政、施設関係、地域の家庭へ広報紙「ふしの学園だより」を、年3回発行・配布	

6 保健・給食・安全

(1) 体力の保持増進及び保健衛生指導

利用者個々人の特性に応じた保健指導を充実する等、一人ひとりの健康管理を重視した支援に努めた。

実 施 日	場 所	内 容	備考
平 日 毎 日	作業室	ラジオ体操、竹踏み	
毎月第3木曜日	作業室	3B体操（外部講師による体操）	
毎 日	居室棟	手洗い・うがいの励行、歯磨き指導、義歯の洗浄	

(2) 保健・給食月別実施状況

① 年間を通じた給食の実施方法

項 目	内 容
個人別摂取基準量	個人別摂取基準量を把握し、質量とも個人にあった食事を提供することにより、生活習慣病予防に努めた。
季節行事食	季節や行事にあった行事食などを実施し、より家庭的な食事の提供に努めた。

②保健給食月間業務

月	保健給食月目標	保 健	給 食	そ の 他
4	○ 歯磨きをていねいにしましょう。 ○ 食器を持って食べましょう。	身長測定 体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 個人別摂取基準量の設定 ・ 厨房内害虫駆除 ・ 春献立	保健給食会議
5		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 春献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 病虫害駆除 (館内) 受水槽清掃
6		体重測定 定期診療 (内科・神経科) 歯科検診	・ 初夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 水質検査 (上水、井水)
7	○ 汗をかいたら着替えましょう。 ○ 冷たい物を飲み過ぎないようにしましょう。	体重測定 定期診療 (内科・神経科) 大腸癌検診 健康診断 (前期)	・ 夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
8		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	病虫害駆除 保健給食会議
9		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 秋献立 ・ 厨房内害虫駆除 ・ 嗜好調査	保健給食会議

10	○ 身体をきれいに 洗いましょう。 ○ 腹八分を心がけ ましょう。	体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 秋献立	保健給食会議
11		定期診療 (内科・神経科) 体重測定	・ 厨房内害虫駆除 ・ 秋献立	飲料水の貯水槽 の管理 水質検査 (上水) 保健給食会議
12		体重測定 インフルエンザ予 防接種	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 病虫害駆除 (館内)
		定期診療 (内科・神経科) 健康診断 (後期)		
1	○ 風邪をひかない ようにうがい手洗 いをしましょう。 ○ 好き嫌いなく食 べましょう。	定期診療 (内科・神経科)	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
2		体重測定 定期診療	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
3		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 春献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
備 考 『保健／給食だより』は必要に応じて随時発行				

(3) 保健給食会議開催状況

関係者による保健給食会議を毎月開催し、個人ごとの健康状態・県内での感染症や食中毒発生状況の情報交換や協議し、利用者の健康保持・感染症予防に努めた。

項 目	開催 日	出席者	主 な 協 議 内 容
保健給食 会 議	毎月 第1金曜日	施設長 支援課長 主 任 看護師 栄養士 調理員	1 利用者個人毎の摂取基準量提供エネルギーの検討 2 健康診断事前準備と診断結果について 3 新規入所利用者について情報共有 4 集団給食施設一斉点検実施結果について 5 非常食と停電時の対応の確認 6 嗜好調査結果について 7 保健所の立入り調査監視指導について 8 インフルエンザ予防接種について 9 週末等帰省後の健康チェックについて 10 その他

(4) 安全対策

安全対策では、昼夜を想定した火災時・風水害時の避難訓練実施や、消防設備・電気設備の適正な維持管理に努めた。また、不審者の侵入を防ぐ等安全面の強化のため、夜間の施錠の確認・巡回を継続して行った。

項 目	実施回数	実 施 内 容	業務委託先等
消防訓練 避難訓練	年 4回	消防訓練（機器取扱訓練含む） 避難訓練	学園で実施 （防火管理者選任）
電気工作物 点 検	2ヶ月毎 実 施	受電設備、構内電線路、非常用 予備発電装置等の点検	（財） 中国電気保安協会
消防設備 機器点検	年 2回	消防設備・機器点検 消防設備総合点検	（有） ハッタ防災山口

7 短期入所事業（ショートステイ）、日中一時支援事業

項目	件数	延日数
短期入所	21	84
日中一時支援	0	0

8 保護者との連携

利用者に対するサービスの向上をはじめ、開かれた施設・信頼される施設づくりのため、保護者の皆さんや保護者会との連携に努めた。

また、保護者向けの広報誌を宮野の里と合同で発行し、各保護者へ配布した。

項 目	業 務 内 容
保護者会・ 総 会 参 加	1 開催日 総 会 平成29年4月22日 保護者会 平成29年7月14日・12月15日 2 場 所 宮野の里会議室 3 参加者 保護者、職員
広報誌の発行	1 名 称 「糸でんわ」 2 回 数 毎月発行（第335号～第346号） 3 配布先 保護者ほか

9 苦情処理（苦情解決第三者委員への報告）

(1) 苦情受付担当者等

名 称	職 名	氏 名	備考
苦情解決責任者	施設長	光永 淳	
苦情受付担当者	支援課長	岡崎 千恵美	
	生活支援員	右田 諒	

(2) 苦情解決第三者委員

氏 名	役 職
平野 充好	前京都女子大学教授、元山口大学副学長
伊藤ルリ子	人権擁護委員、元民生・児童委員
杉山 昭郎	ふしの学園を育てる会会長、元民生・児童委員

(3) 苦情解決委員・第三者委員会議

① 開催日 : 平成30年3月7日(水)

② 苦情件数 : 1件

10 施設の管理運営

(1) 職員会議開催状況

開催日	主な協議内容	備考
毎月 第1金曜日	1 業務の振り返りチェックシートについて 2 アイリンピック大会の参加について 3 諸行事の実施及びその反省 4 短期入所利用者についての情報共有 5 夏期特別休暇について 6 36協定に係る職員代表について 7 施設見学来園者について 8 作業工賃について 9 ふしの学園祭について 10 インフルエンザ 予防接種について 11 県指導監査について 12 週末・年末等帰省後の健康チェックについて 13 次年度予算について 14 出勤簿・年休簿の記入について 15 避難訓練について 16 その他	

(2) 経費節減対策

対 象 品 目	内 容
プロパンガス、灯油 ガソリン及び軽油 精米	年間に大量購入する左記の物品について、数社の専門業者に見積りを依頼し、宮野の里と共同で単価契約を実施。価格改定の場合は、変更契約を実施。 プロパンガス：4社 灯油：2社 ガソリン・軽油：2社 精米：6社

(3) 職員の研修等

① 外部研修等

No	研 修 会・会 議・大 会 名	開催地	開 催 月 日
1	自閉症スペクトラムの人の支援講座	山口市	4月15日・16日
2	山口市地域自立支援協議会及び各部会研修会	山口市	5月 2日・ 7月20日・8月1日 8月30日・10月16日・12月5日 1月11日・16日 2月15日・ 3月13日
3	医療保健研究部会及び役員会	山口市	4月13日・ 6月20日 10月17日・ 2月7日
4	安全運転管理者協議会通常総会、講習会	山口市	5月18日・ 7月26日
5	施設長研修会	山口市	6月30日
6	障害者（児）福祉施設等保健担当職員研修	山口市	7月14日
7	防府山口圏域支援スタッフ研究会	山口市	8月 1日・ 2月7日
8	社会福祉法人経営者協議会制度改革セミナー	山口市	8月18日
9	強度行動障害支援者養成基礎研修	山口市	8月23日・24日
10	支援スタッフ研究会	山口市	9月 4日・ 2月23日
11	障害者支援施設部会研究会	宇部市	9月13日

12	中部地区施設長研修会	宇部市	10月30日
13	虐待防止に関する研修会	山口市	11月 7日・12月26日 2月14日
14	第29回山口県知的障がい施設福祉振興大会	宇部市	11月16日
15	甲種防災管理講習	山口市	12月14日・15日
16	上級救命講習	山口市	1月17日・18日

② 内部研修（復命・伝達を兼ねる）

・「セルフマネジメントについて」

講師 第2宮野の里職員

場所 第2宮野の里支援員室

日時 10月7日

・「虐待防止について」

講師 第2宮野の里職員

場所 第2宮野の里支援員室

日時 12月2日

1.1 職員の健康管理

(1) 健康診断

夜勤職員（8名）：年2回実施

その他職員（15名）：年1回実施

(2) 栄養士・調理員の保菌検査・・・毎月実施

(3) インフルエンザ 予防接種・・・・・・19名接種